

エコアクション21 環境経営レポート

2023年度

運用期間(2023年4月1日～2024年3月31日)



発行日：2025年 1月16日

株式会社 タニテクニカル

目次

I. 事業活動の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II. 環境経営方針	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
III. E A 2 1 実施体制図	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
IV. 環境経営目標	・・・・・・・・・・・・・・・・	4
V. 環境経営計画	・・・・・・・・・・・・・・・・	5～6
VI. 環境活動の取組結果の評価と見直し	・・・・・・・・・・・・・・・・	7～9
VII. 環境関連法規への違反、訴訟の有無	・・・・・・・・・・・・・・・・	10
VIII. 代表者見直し記録	・・・・・・・・・・・・・・・・	11

I. 事業活動の概要

1. 社名 株式会社 タニテクニカル

2. 創立年月日 1990年4月4日

3. 資本金 300万円

4. 代表者 代表取締役 谷口 武

5. 所在地 本社・工場（第一、第二）
〒473-0911
愛知県豊田市本町寺田34番地
TEL：0565-42-2266
FAX：0565-52-0028



6. 環境管理責任者及び連絡先
環境管理責任者 三輪 昭美
Email:miwa@tanitech.co.jp

7. 事業活動の内容
製缶一式・機械加工一式・精密板金
ステンレス・アルミ加工
制御盤の製作
板金加工及び試作
配電盤・産業機械・道路情報板等の板金加工

8. 事業の規模

年度	売上 (百万円)	従業員 (人)	床面積 (㎡)
2020	665	46	4887
2021	915	60	4887
2022	1043	52	4887
2023	1039	64	4887

* 2017年4月より第二工場稼働

9. 事業年度 4月1日～3月31日

10. 認証登録範囲

1) 対象組織 本社・工場（第一、第二）

2) 認証登録範囲 全組織・全活動

II. 環境経営方針

環境理念

当社は、生産設備及び金属部品加工の事業活動において、環境に影響する業務がある事を認識し、環境保全に取り組み、顧客の信頼と期待に応え、高品質な製品の提供を通じて社会に貢献します。

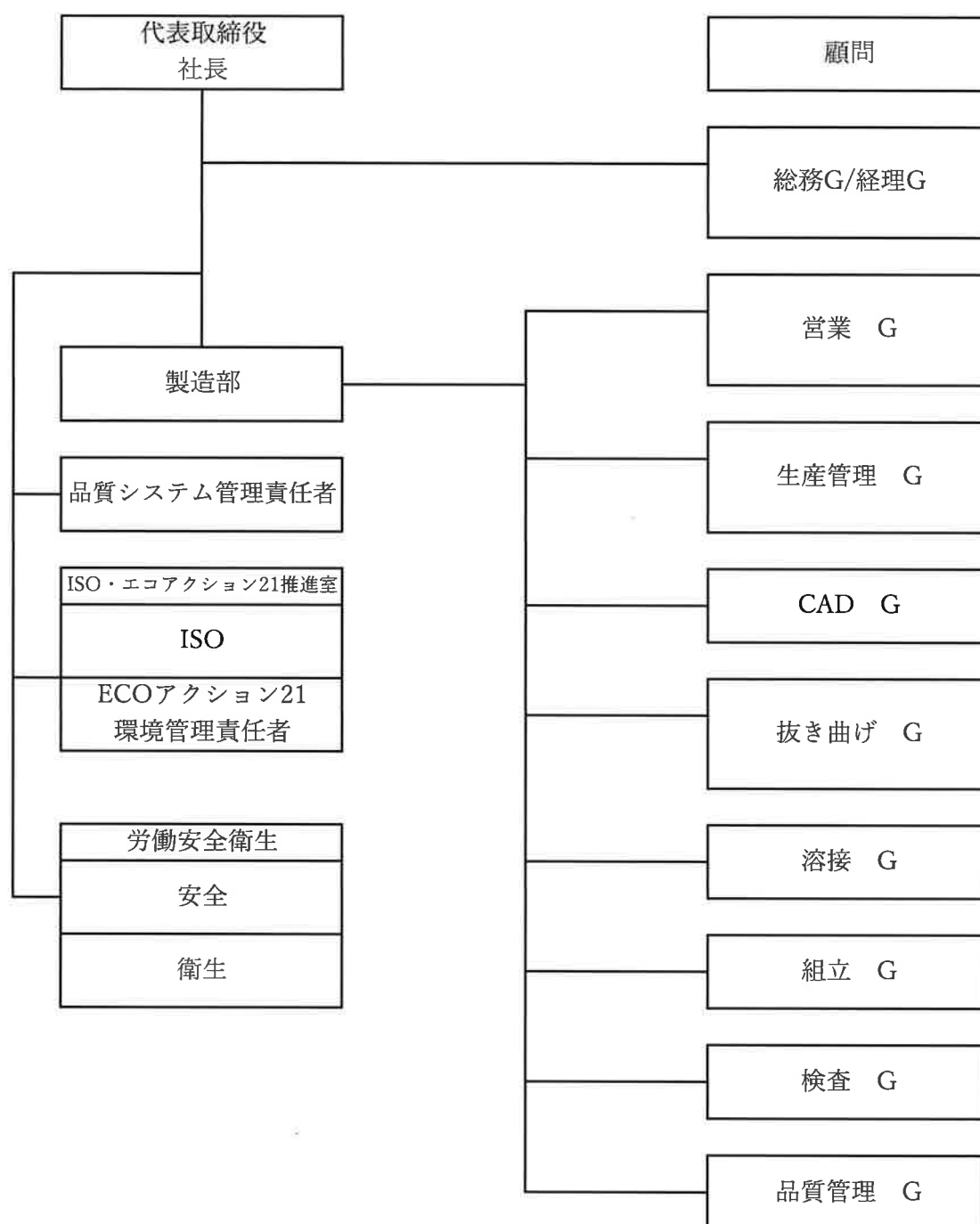
行動指針

1. 環境関連法規制や当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
2. 次の事項において環境経営目標・環境経営計画を定め、取り組みを展開します。
 - ① 省エネルギーに取り組み、二酸化炭素の排出量を削減します。
 - ② 分別の徹底・リサイクルの推進に努め廃棄物排出量を削減します。
 - ③ 節水に努め、水使用量を削減します。
 - ④ 工場外周辺の清掃を実施し、社会貢献活動を積極的に行います。
 - ⑤ 事業活動において不良率の改善を実施し、効率化を促進します。
3. 本方針を全社員に周知し、環境経営の継続的改善を進めます。

改定日： 2018年 4月 1日

株式会社 タニテクニカル
代表取締役社長
谷口 武

III. E A 2 1 実施体制図



役割・責任・権限

代表者	環境方針の作成、環境管理責任者の任命、 資源の準備、代表者による全体の評価と見直し
環境管理責任者	代表者に代わり、環境経営システムの構築・運用 その状況を代表者に報告する 外部からの苦情等の受付と必要な対応及び結果の記録 環境関連文書及び記録の素案作成・管理等
従業員	E A 2 1 取り組み実施、実施状況の確認・記録・ 事務局へ提出

IV. 環境経営目標

作成日	2021年 3月31日
作成者	三輪
承認	谷口

化学物質については、生産と連動して削減対象とできないため、適正管理に努めます。

NO.	環境方針	項目	単位		※基準値	環境年度目標		
					2020年度(実績)	2021年度	2022年度	2023年度
					(4月～翌年3月)	(4月～翌年3月)	(4月～翌年3月)	(4月～翌年3月)
1	二酸化炭素 排出量の削減	① 電力の使用量の 削減	原単位	kwh/百万円	1,168.273	2020年度比より 1%以上削減	2020年度比より 2%以上削減	2020年度比より 3%以上削減
						1,156.591	1,144.908	1,133.225
		② 灯油の使用量の 削減	原単位	L/百万円	1.475	2020年度比より 1%以上削減	2020年度比より 2%以上削減	2020年度比より 3%以上削減
						1.460	1.445	1.430
		③ 軽油車の燃費の 向上	燃費	km/L	7.070	2020年度比より 0.1向上	2020年度比より 0.2向上	2020年度比より 0.3向上
						7.170	7.270	7.370
		④ CO2排出量の合計 (電気・灯油・軽油・ガソリン ・LPG)	原単位	Kg-CO2/百万円	521.678	2020年度比より 1%以上削減	2020年度比より 2%以上削減	2020年度比より 3%以上削減
						516.461	511.245	506.028
2	廃棄物排出量の削減	① 混合物の排出量の 削減	原単位	kg/百万円	1.127	2020年度比より 1%以上削減	2020年度比より 2%以上削減	2020年度比より 3%以上削減
						1.116	1.105	1.093
		② 廃プラスチック類の 排出量の削減			0.846	2020年度比より 1%以上削減	2020年度比より 2%以上削減	2020年度比より 3%以上削減
						0.837	0.829	0.820
		③ 木くずの 排出量の削減			29.326	2020年度比より 1%以上削減	2020年度比より 2%以上削減	2020年度比より 3%以上削減
						29.033	28.739	28.446
		④ 総廃棄物の排出量の 削減			31.299	2020年度比より 1%以上削減	2020年度比より 2%以上削減	2020年度比より 3%以上削減
						30.986	30.673	30.360
3	水使用量の削減	水使用量の削減	原単位	m/百万円	0.625	2020年度比より 1%以上削減 0.619	2020年度比より 2%以上削減 0.613	2020年度比より 3%以上削減 0.607
4	社会貢献活動の推進	工場外周辺清掃を毎月清掃実施する	総量	回/月	1回/月	1回/月	1回/月	1回/月
5	業務活動の 効率化の推進	不良率の削減	件数	不良件数	44	2020年度より 減少	2020年度より 減少	2020年度より 減少

※ 基準の実績は、2020年度とする。

※ 2023年度売上高 1039百万円

※電力の排出係数は中部電力の2020年実排出係数0.406(kg-CO2/kWh)

V. 環境経営計画

2023年度 実施期間2023年4月～2024年3月

1. 二酸化炭素排出量削減

【電力の使用量】

- ①冷暖房の設定温度の徹底（冷房 26℃ 暖房 22℃） 【全部署】
- ②冷暖房機の月1回の定期的なフィルタの清掃 【全部署】
- ③使用時間外のPC・機械の電源オフ 【全部署】
- ④使用時間外の消灯の徹底 【全部署】
- ⑤エアー漏れがないか年4の定期点検 【総務部】
- ⑥節電の意識向上の為、各所に啓発ステッカーを掲示 【環境管理責任者】
- ⑦照明をLED蛍光灯へ切替えの検討 【総務部】

【灯油の使用量】

- ①暖房機の使用時間外の電源オフ 【全部署】
- ②灯油の使用量の制限 【製造部】

【軽油・ガソリンの使用量】

- ①エコドライブの推進 【全部署】
- ②アイドリングストップ・急加速・急停止の防止 【検査・運搬G】
- ③購入時にエコカーへの切替えを検討 【総務部】

2. 廃棄物の排出量削減

【混合物】 【全部署】

- ①分別BOXを設置し、分別の徹底を図る
- ②紙使用量の削減
 - ・古紙・ダンボールのリサイクル化
 - ・梱包紙・合紙の有効活用
- ③外部からのゴミの持ち込みを徹底禁止
- ④私物のゴミの持ち帰り運動
- ⑤お弁当のMY箸化により、割り箸ごみの削減
- ⑥部署単位による軍手の見直し活動

【廃プラスチック類】 【全部署】

- ①分別BOXを設置し、分別の徹底を図る
- ②部署単位によるサダー刃の最大限有効活用し、削減を行う 【製造部】



【木くず】 【環境管理責任者】 【総務課】

- ①発注材料の見える化を行い、材料の都度買いを減らし、できるだけまとめて発注すること削減につなげる。
- ②再利用してもらえる業者の検討を行う。

3. 水使用量の削減

- ①水道排水管の漏れ点検 【環境管理責任者】
- ②節水の呼びかけにより、蛇口をこまめに締めよう運動 【全部署】
- ③水道元栓の開度調節 【環境管理責任者】
- ④節水の意識向上の為、啓発ステッカーを掲示 【環境管理責任者】

4. 社会貢献活動の推進

- ①工場外周辺の清掃を1回/月実施 【全部署】



5. 業務活動の効率化の推進

- ①不良率の把握と協議することで、最小限に減らしていく 【品質管理課】



- ②E A 2 1 委員会及び安全衛生委員会の月1回のパトロール及び協議

【E A 2 1 事務局・安全衛生委員会】



VI. 環境活動の取組結果の評価と見直し

1. 目標と結果

判定 ○：目標達成 ×：目標未達成

NO.	環境方針	項目	単位	2020年度	2023年度				判定
				基準値	取組期間の 削減目標値	取組期間の 実数値	取組期間の 実績値	取組期間の 達成状況	
1	二酸化炭素排出量の削減	① 電力の使用量の削減	原単位	1,168.273	1,133.225	783,110	753.662	-33.49%	○
				Kwh/百万円	Kwh/百万円	Kwh	Kwh/百万円		
		② 灯油の使用量の削減	原単位	1.475	1.430	2,284	2.198	53.68%	×
				L/百万円	L/百万円	L	L/百万円		
		③ 軽油車の燃費の向上	燃費	7.070	7.370	6.500	6.500	-0.87	×
				km/L	km/L	km/L	km/L		
		④ CO2排出量の合計 (電気・灯油・軽油・ ガソリン・LPG)	原単位	521.678	506.028	377,793.100	363.586	-28.15%	○
				Kg-CO2/百万円	Kg-CO2/百万円	Kg-CO2	Kg-CO2/百万円		
2	廃棄物排出量の削減	① 混合物の排出量の削減	原単位	1.127	1.093	1,438	1.384	26.59%	×
				kg/百万円	kg/百万円	Kg	kg/百万円		
		② 廃プラスチック類の排出量の削減		0.846	0.820	849.71	0.818	-0.32%	○
				kg/百万円	kg/百万円	Kg	kg/百万円		
		③ 木くずの排出量の削減		29.326	28.446	16,030	15.427	-45.77%	○
				kg/百万円	kg/百万円	Kg	kg/百万円		
		④ 総廃棄物排出量の削減		31.299	30.360	18317.99	17.629	-41.93%	○
				kg/百万円	kg/百万円	Kg	kg/百万円		
3	水使用量の削減	水使用量の削減	原単位	0.625	0.607	446	0.429	-29.23%	○
				m³/百万円	m³/百万円	m³	m³/百万円		
4	社会貢献活動の推進	工場外周辺清掃を毎月 清掃実施する	総量	回/月	1回/月	3回休み		—	—
5	業務活動の効率化の 推進	不良率の削減	件数	不良件数	44	132		88	×

※ 基準の実績は、2020年度とする。

※ 2023年度売上高 1039百万円

※電力の排出係数は中部電力の2020年実排出係数0.406(kg-CO2/kWh)

2. 評価と見直し

項目	判定	来期の取組
1) 二酸化炭素の削減		
① 電力の使用量 ・ 大幅な削減の要因は、複合機(EML)1台を2023年4月に稼働停止になった事だと思われま。各個人での活動は引き続き継続し削減に努めていきたい。	○	継続
② 灯油の使用量 ・ 今期も同様、基準年度はなかった冬期の残業が多く灯油ストーブの使用が余儀なくされ増加となった。	×	基準年の見直しが必要
③ 軽油車の燃費 ・ 基準年と比べ、遠方ユーザーの短納期対応が多く、生産量の増加に伴い不具合も増加したことで、こまめな運搬が重なったことが要因と思われます。	×	基準年の見直しが必要
④ 二酸化炭素排出量の削減 ・ 昨年と同様、二酸化炭素の排出量の大半を占める電力の項目で結果が出た為、削減となった。	○	継続
2) 廃棄物の削減		
① 混合物 ・ 基準年と比べ、通常業務に戻り売上げが倍増したことが増加の要因と思われます。従業員の増員に伴い、分別の教育が不十分だったことも考えられる。	×	再度分別の教育を行う
② 廃プラスチック類 ・ 昨年と同様、総量としては基準年より増加ではあるが、通常業務に戻り売上げが倍増したことで原単位では減少となった。	○	継続
③ 木くず ・ 昨年から都度買っていた材料の発注材料の見える化で、材料のまとめ発注によって、木パレットの削減に努めることができました。協力会社へ木パレットの供給ができたことも削減につながった。	○	継続
④ 総廃棄物排出量の削減 ・ 混合物の廃棄物が目標達成に及ばなかったが、全体としては目標を達成できた。 引き続き各種廃棄物の分別強化に努め、結果に繋げていきたい。	○	継続
3) 水使用量の削減		
・ 昨年と同様、電解処理を要する製品の減少により削減となった。 引き続き、従業員の節水の意識付けは今後も続けていく。	○	継続
4) 社会貢献の推進		
・ 工場外周辺の清掃について、本年度は年3回中止としました。 夏場は猛暑為、8月。冬場は厳冬の為、1月・2月は中止とした。 それ以外は毎月実施した。	○	継続
5) 業務活動の効率化の推進		
・ 昨年同様、不良件数は社外クレームの集計であるが、増加であった。 基準年と比べ通常業務に戻り売上げが倍増したことに比例して増加となったが、他に基準年は協力会社でのクレームは計上しておらず、2023.8より品質管理者が変わり全てのクレームを計上することになった事が、増加の一番大きな要因となった。	×	基準年の見直しが必要

【取組】太陽光発電事業

下記太陽光発電事業にてクリーンエネルギーを創出しCO2削減に繋がりました。

定格出力287kWの太陽光発電設備を設置し、【 タニテク豊田発電所 】 として
2014年3月より運転開始しました。

2023年度の年間発電量は約522,648kWhとなり、一般家庭の年間消費電力量の約145世帯分に
相当し、年間約278,000kgもの二酸化炭素排出削減に貢献いたしました。

	太陽光出力電力量 (kWh)	一般家庭年間消費世帯相当数 (件数)	二酸化炭素排出削減量 (kg)
2020年度	572,611.034	159.06	305,487.99
2023年度	522,648.000	145.18	278,832.71

※ 一般家庭の一世帯あたりの電力消費量：約300Kwh／月（参照：電気事業連合会）

※ 579g-CO2/kWh（国内電力会社平均CO2排出係数：代替値）－45.5g-CO2/kWh（結晶系太陽電池排出係数）
＝533.5 g -CO2/kWh(参照:太陽光発電協会表示ガイドライン H28)

①施設の概要

	第一工場	第二工場
所在地	豊田市本町寺田34番地	豊田市本町寺田34番地
パネル面積	1,879平方メートル	1,643平方メートル

②発電設備

	第一工場	第二工場
パネル：太陽光モジュール	250W x 1,148枚	270W x 1,008枚
パワーコンディショナー	250kW	250kW
売電用キュービクル	250kW	250kW

VII. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

1. 下記環境関連法規への遵守状況を点検した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。

なお、過去3年間関係機関からの違反等の指摘、訴訟等也没有ありません。

- ・ 廃棄物処理法
- ・ 騒音 振動規制法
- ・ 水質汚濁法
- ・ 浄化槽法
- ・ フロン排出抑制法
- ・ 家電リサイクル法
- ・ 自動車リサイクル法
- ・ 消防法
- ・ 毒物及び劇物取締法
- ・ 豊田市環境を守り育てる条例

VIII. 代表者見直し記録

作成日	2024年5月31日
承認	作成
代表者	環境管理責任者
谷口	三輪

見直し 関連 情報	項目		必要に応じて評価・コメント
	1	環境経営計画の結果と評価	・二酸化炭素の削減は、複合機1台の稼働がなくなった事が電力の削減に大きな結果となった。 ・廃棄物の削減は、混合物が目標未達成の為、分別の指導が必要。 ・業務活動の効率化の推進は、計上が異なるが増加傾向には変わらない為、各部署での新人教育と作業の見直しが重要だと思います。
	2	環境経営計画の来期の取組計画	・取組を継続致します。
	3	次年度以降の環境経営目標	・2023年度を基準年度として2024年～2026年度取り組みます。
	4	環境関連法規などの遵守状況	・環境関連法規への遵守状況を点検した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。
	5	外部からの環境に関する苦情や要望	・2023年度、特にありませんでした。
	6	問題点の是正・予防処置の実施状況	・未達成の項目は、基準年がコロナ過の為比較が困難なので来期は基準年の見直しを行う。
	8	その他	・特になし。
	(総括) ・二酸化炭素の削減は、電力の削減が大きかった。 ・廃棄物の削減は、混合物が未達成だった。従業員増員に伴い、分別の強化を行います。 ・不良率の削減においては、各部署毎での報連相、新従業員への教育の強化が必要。		

代 表 者 に よ る 全 体 評 価 ・ 見 直 し 指 示	見直し項目		変更の 必要性		「有」の場合の指示事項
	1	環境経営方針	有	無	
	2	環境経営目標	有	無	
	3	環境経営計画	有	無	
	4	環境に関する実施体制	有	無	
	5	その他	有	無	
	(総括)				
基準年がコロナ過の為、比較が適当ではなく評価が難しいですが、取組としては評価します。					
今後も新人が増加傾向にありますので、指導教育をしっかりと行って下さい。					
2024年5月31日					
株式会社　タニテクニカル					
代表取締役　谷口　武					